

消化器内科 *Gastroenterology*

1. スタッフ構成

- 二宮 朋之(副院長、地域医療キャリア形成支援センター長、経営改革推進本部副本部長、地域医療連携室長、医療秘書管理室長)

1990年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に消化管疾患)

資格:日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・消化器内視鏡指導医、日本超音波医学会超音波専門医・超音波指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本消化管学会胃腸科専門医・胃腸科指導医、厚生労働省臨床研修指導医

- 平岡 淳(主任部長)

1998年鹿児島大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に肝疾患・肝臓)

資格:日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本肝臓学会肝臓専門医・指導医、日本超音波医学会超音波専門医・超音波指導医、厚生労働省臨床研修指導医

- 壺内 栄治(部長、消化器病センター副センター長)

1996年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に消化管疾患)

資格:日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・消化器内視鏡指導医、日本肝臓学会肝臓専門医、日本消化管学会胃腸科専門医・胃腸科指導医、日本ヘリコバクター学会ピロリ菌感染症認定医、厚生労働省臨床研修指導医

- 宮田 英樹(部長、内視鏡室長)

1996年札幌医科大学卒

専門分野:消化器疾患(特に胆膵疾患)

資格:日本内科学会認定内科医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・消化器内視鏡指導医、日本胆道学会指導医、日本膵臓学会指導医、厚生労働省臨床研修指導医

- 多田 藤政(部長)

2003年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に肝疾患・肝臓)

資格:日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本超音波医学会超音波専門医・超音波指導医、日本肝臓学会肝臓専門医・指導医、日本糖尿病学会糖尿病専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医・指導医、厚生労働省臨床研修指導医

- 黒田 太良(部長)

2007年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に胆膵疾患)

資格:日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・消化器内視鏡指導医、日本膵臓学会指導医、日本肝臓学会肝臓専門医、日本胆道学会指導医、日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医・指導医、厚生労働省臨床研修指導医

- 川村 智恵(部長)

2008年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に消化管疾患)

資格:日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本肝臓学会肝臓専門医、厚生労働省臨床研修指導医

- 兼光 梢(部長)

2010年大分大学医学部卒

専門分野:消化器疾患(特に胆膵疾患)

資格:日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本肝臓学会肝臓専門医、日本膵臓学会指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、厚生労働省臨床研修指導医

- 北畑 翔吾(医長、IBD センター長)

2012年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患

資格:日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本肝臓学会肝臓専門医、厚生労働省臨床研修指導医

- 泉本 裕文(医長)

2014年福岡大学医学部卒

専門分野:消化器疾患

資格:日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会上部消化管内視鏡スクリーニング認定医・大腸内視鏡スクリーニング認定医・消化器内視鏡専門医、厚生労働省臨床研修指導医

- 大西 慶(医長、地域医療キャリア形成支援センター勤務)

2014年自治医科大学卒

専門分野:消化器疾患

資格:日本内科学会認定内科医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会上部消化管内視鏡スクリーニング認定医・大腸内視鏡スクリーニング認定医・消化器内視鏡専門医、日本病院総合診療医学会認定医、厚生労働省臨床研修指導医

- 村上 大晟(医長、地域医療キャリア形成支援センター勤務)

2015年自治医科大学卒

専門分野:消化器疾患

資格:日本内科学会認定内科医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、厚生労働省臨床研修指導医

- 松岡 順子(非常勤医師)

2006年自治医科大学卒

専門分野:消化器疾患

資格:日本内科学会総合内科専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア認定医

○福本 真惟(内科専門研修プログラム専攻医)

2021年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患

○松岡 海南(内科専門研修プログラム専攻医)

2021年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患

○松田 拓也(内科専門研修プログラム専攻医)

2021年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患

○村川 和也(専攻医)

2021年山形大学医学部卒

専門分野:消化器疾患

○中村 綾花(内科専門研修プログラム専攻医)

2022年愛媛大学医学部卒

専門分野:消化器疾患

○木村 優伽(専攻医)

2022年香川大学医学部卒

専門分野:消化器疾患

○岩崎 竜一郎(診療委託)

○寺尾 美紗(診療委託)

○須賀 義文(診療委託)

2. 実績

■ 疾患別入院患者数

疾患名	患者数
食道癌	76
食道・胃静脈瘤	41
胃潰瘍	33
胃癌	160
胃ポリープ	42
十二指腸潰瘍	13
十二指腸癌	12
潰瘍性大腸炎	12
クローン病	8
イレウス	60
結腸憩室炎	12
結腸憩室出血	15
大腸ポリープ	80
大腸癌	84
S状結腸軸捻転	6
肝炎	9
自己免疫性肝炎	10
肝硬変	16
肝癌	159

膵炎	80
自己免疫性膵炎	14
膵癌	177
急性胆嚢炎	32
胆嚢癌	16
急性胆管炎	176
胆管癌	55
総胆管結石	134
その他	380
合計	1,912

■ 主な検査・治療・手術件数

検査・治療・手術名	症例数
上部消化管内視鏡検査	5,165
下部消化管内視鏡検査	2,489
食道静脈瘤硬化術・結紮術	63
内視鏡的止血術(上部消化管)	49
内視鏡的食道拡張術	12
上部消化管異物除去	31
内視鏡的胃瘻造設術	34
内視鏡的大腸ポリープ切除	808
内視鏡的粘膜下層剥離術(食道)	28
内視鏡的粘膜下層剥離術(胃)	154
内視鏡的粘膜下層剥離術(大腸)	79
内視鏡的大腸止血術	48
上部イレウス管挿入	52
大腸イレウス管挿入	3
大腸ステント留置	37
小腸内視鏡	16
カプセル内視鏡	60
超音波内視鏡(上部・下部)	464
ERCP	723
EST	179
内視鏡的截石術	262
内視鏡的胆道ドレナージ	292
管腔内超音波内視鏡検査(IDUS)	41
腹部超音波検査	4,980
腹部造影超音波検査	157
腹腔動脈造影(TAE 除く)	4
肝腫瘍に対する肝動脈塞栓術	122
RFA	50
エコー下肝生検	48
肝硬度測定	199
経皮経肝胆道ドレナージ	2
胆嚢ドレナージ	16
肝膿瘍ドレナージ	8
BRTO	6

3. 2024 年度目標

(1) 医療レベルのさらなる向上

医療レベルをさらに向上させ、愛媛県内のみならず、全国的にもトップレベルの診療ができるように診療のレベルアップを目指します。

(2) 医療安全の推進

リスクを伴う処置、治療が多いため、各人の医療安全意識の向上に努めるとともに、医療事故の発生確率を低下させるシステムづくりを医療スタッフと共に推進します。

(3) 医学的エビデンスへの貢献

当院の診療経験で得られた知見をガイドライン作成に貢献できるような学術論文として継続して報告していくことで、自らの医療レベルの継続的振り返りを心がけて日常診療へフィードバックを行います。

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- 平岡淳、熊田卓、多田俊史、廣岡昌史、狩山和也、谷丈二、厚川正則、高口浩一、糸林詠、福西新弥、辻邦彦、石川達、田尻和人、越智裕紀、豊田秀徳、小川力、西村貴士、畑中健、柿崎暁、海堀昌樹。切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法に伴う早期尿蛋白出現の臨床的予測因子。第 27 回日本肝がん分子標的治療研究会。大阪 (2023.1.13-14)
- 大濱日出子、多田俊史、谷丈二、厚川正則、高口浩一、糸林詠、辻邦彦、石川達、越智裕紀、豊田秀徳、畑中健、柿崎暁、川田一仁、的野智充、能祖一裕、飯島尋子、海堀昌樹、日浅陽一、工藤正俊、熊田卓。Child-Pugh B 患者の切除不能肝細胞癌に対する Atezolizumab+Bevacizumab と Lenvatinib の治療比較。第 27 回日本肝がん分子標的治療研究会。大阪 (2023.1.13-14)
- 平岡淳、浪崎正、中井正人、原なぎさ、華井竜徳、宮明寿光、中原隆志、平松憲、多田藤政、大濱日出子、吉治仁志。肝臓専門外来患者のアルコール摂取状況～AUDIT を用いた飲酒摂取状況の評価～。第 42 回アルコール医学生物学会学術集会。東京 (2023.2.3-4)
- 福西芳子、平岡淳、大濱日出子、多田藤政、加藤佳夏子、柳原映美、加藤雅也、實藤洋伸、泉本裕文、吉野武晃、植木秀太郎、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、須賀義文、宮田英樹、二宮朋之、廣岡昌史、日浅陽一。超高齢化社会における肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法の意義。第 1 回日本アブレーション研究会。東京 (2023.2.4)
- 大濱日出子、平岡淳、多田藤政、加藤佳夏子、福西芳子、柳原映美、實藤洋伸、泉本裕文、植木秀太郎、吉野武晃、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、須賀義文、宮田英樹、花岡潤、渡邊常太、大谷広美、二宮朋之、日浅陽一。BCLC-B かつ up to 7 out の肝細胞癌に対する RFA と手術の combination 療法の有用。第 1 回日本アブレーション研究会。東京 (2023.2.4)
- 多田藤政、平岡淳、大濱日出子、加藤佳夏子、福西芳子、柳原映美、加藤雅也、實藤洋伸、泉本裕文、吉野武晃、植木秀太郎、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、須賀義文、宮田英樹、二宮朋之、廣岡昌史、日浅陽一。初発肝細胞癌に対するラジオ波治療における予後の検討。第 1 回日本アブレーション研究会。東京 (2023.2.4)
- Eric Assenat, Shukui Qin, Masatoshi Kudo, Tim Meyer, Richard S Finn, Arndt Vogel, Yuxian Bai, Yabing Guo, Zhiqiang Meng, Tao Zhang, Taroh Satoh, Atsushi Hiraoka, Donatella Marino, Lucjan Wyrwicz, Mariona Calvo Campos, Kuo Hsing-Tao, Frederic Boissarie, Songzi Li, Yaxi Chen, Andrew X Zhu. Final Analysis of RATIONALE-301:Randomized,Phase 3 Study of Tislelizumab versus Sorafenib as First-Line Treatment for Unresectable Hepatocellular Carcinoma. JFHOD 2023. Paris (2023.3.16-19)
- 多田藤政、多田俊史、廣岡昌史、狩山和也、谷丈二、厚川正則、高口浩一、糸林詠、福西新弥、辻邦彦、石川達、田尻和人、越智裕紀、豊田秀徳、小川力、畑中健、柿崎暁、川田一仁、飯島尋子、熊田卓。Child-Pugh A と Child-Pugh B 切除不能肝癌に対する Atezolizumab+Bevacizumab 治療成績。第 109 回日本消化器病学会総会。長崎 (2023.4.6-8)
- 大濱日出子、平岡淳、多田藤政、加藤佳夏子、福西芳子、柳原映美、加藤雅也、實藤洋伸、泉本裕文、吉野武晃、植木秀太郎、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、須賀義文、宮田英樹、二宮朋之、廣岡昌史、日浅陽一。切除不能肝癌に対する lenvatinib 治療の予後予測における geriatric nutritional risk index の有用性。第 109 回日本消化器病学会総会。長崎 (2023.4.6-8)
- 平岡淳。「消化器疾患とサルコペニア・フレイル」2(シンポジウム基調講演)。第 109 回日本消化器病学会総会。長崎 (2023.4.6-8)
- 福西芳子、平岡淳、大濱日出子、多田藤政、柳原映美、加藤佳夏子、加藤雅也、實藤洋伸、泉本裕文、吉野武晃、植木秀太郎、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、須賀義文、宮田英樹、二宮朋之。高齢社会における愛媛県での消化器内科入院患者:過去 12 年間の変化。第 109 回日本消化器病学会総会。長崎 (2023.4.6-8)
- 兼光梢、小泉光仁、丸井香織、國分勝仁、奥嶋優介、沼田結希、今村良樹、熊木天児、日浅陽一。地方大学における痔瘻遺伝子検査の現状。第 109 回日本消化器病学会総会。長崎 (2023.4.6-8)
- 中谷康輔、多田藤政、平岡淳、浅木彰則、中西公王、河崎秀樹、野間章裕、越智麻理絵、北畑翔吾、二宮朋之、小泉洋平、廣岡昌史、日浅陽一。術前に造影超音波検査を施行した肉腫様変化を来した肝内胆管癌の 1 切除例。第 36 回日本腹部造影エコー・ドブラ診断研究会。和歌山 (2023.4.22)
- 多田藤政、平岡淳、中谷康輔、大濱日出子、野間章裕、北畑翔吾、越智麻理絵、二宮朋之、小泉洋平、廣岡昌史、日浅陽一。術前に造影超音波を施行した AFP 上昇を呈した肝原発神経内分泌細胞癌の 1 切除例。第 36 回日本腹部造影エコー・ドブラ診断研究会。和歌山 (2023.4.22)
- Masaya Kato, Atsushi Hiraoka, Hideko Ohama, Fujimasa Tada, Kosuke Nakatani, Emi Yanagihara, Kanako Kato, Yoshiko Fukunishi, Tomoyuki Ninomiya, Yoichi Hiasa. Changes of prognosis of hepatocellular carcinoma related hepatitis C virus before and after DAA development. DDW2023. Chicago (2023.5.6-9)
- Hironobu Saneto, Atsushi Hiraoka, Hideko Ohama, Fujimasa Tada, Kosuke Nakatani, Emi Yanagihara, Kanako Kato, Yoshiko Fukunishi, Masaya Kato, Tomoyuki Ninomiya, Yoichi Hiasa. Clinical features of hepatocellular carcinoma patients in rapidly aging Japanese society. DDW2023. Chicago (2023.5.6-9)
- Shogo Kitahata, Hirofumi Izumoto, Tomoe Kawamura, Junko Matsuoka, Yoshifumi Suga, Tomoyuki Ninomiya. Effect of disease extent on leucine-rich α 2-glycoprotein in patients with ulcerative colitis as a marker for mucosal healing. 第 105 回日本消化器内視鏡学会総会。東京 (2023.5.25-27)
- Masatoshi Kudo, Kazuomi Ueshima, Kaoru Tsuchiya, Naoya Kato, Tatsuya Yamashita, Shigeo Shimose, Kazushi Numata, Yuzo Kodama, Yasuhito Tanaka, Hidekatsu Kuroda, Shinji Itoh, Hiroshi Aikata, Atsushi Hiraoka, Michihisa Moriguchi, Yoshiyuki Wada, Kazuhiko Nakao, Ryosuke Tateishi, Sadahisa Ogasawara, Kouji Yamamoto, Masafumi Ikeda. REPLACEMENT Study:Primary analysis of a phase II study of atezolizumab plus bevacizumab for TACE-unsuitable patients with tumor burden beyond up-to-seven criteria in intermediate-stage hepatocellular carcinoma. ASCO2023. Chicago (2023.6.2-6)
- 多田藤政、平岡淳、大濱日出子。肝疾患におけるサルコペニア診断と栄養・運動介入の課題。慢性肝疾患患者における簡易な筋肉量減少予測方法 Geriatric Nutritional Risk Index(GNRI)の有用性検討。第 59 回日本肝臓学会総会。奈良 (2023.6.15-16)
- 柳原映美、多田藤政、大濱日出子、福西芳子、加藤佳夏子、加藤雅也、實藤洋伸、泉本裕文、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、平岡淳。初発時に破裂出血で診断された肝細胞癌症例の臨床像。第 59 回日本肝臓学会総会。奈良 (2023.6.15-16)
- 筒井朱美、平岡淳、熊田卓、狩山和也、多田俊史、豊田秀徳、柴田啓志、能祖一裕、高口浩一、永野拓也、妹尾知典。肝細胞癌根治術症例における Geriatric Nutritional Risk Index(GNRI)の予後予測能。第 59 回日本肝臓学会総会。奈良 (2023.6.15-16)
- 多田俊史、平岡淳、熊田卓。多発肝細胞癌例における外科的切除とアブレーション療法を組み合わせた集学的治療の有用性。第 59 回日本肝臓学会総会。奈良 (2023.6.15-16)
- 鈴木悠平、長沼篤、平岡淳、多田俊史、廣岡昌史、狩山和也、谷丈二、厚川正則、高口浩一、糸林詠、福西新弥、辻邦彦、石川達、田尻和人、越智裕紀、豊田秀徳、畑中健、星野崇、柿崎暁、熊田卓。HCC-GRIm-score を用いたアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の予後予測。第 59 回日本肝臓学会総会。奈良 (2023.6.15-16)
- 大濱日出子、平岡淳、多田俊史、谷丈二、厚川正則、高口浩一、糸林詠、辻邦彦、石川達、越智裕紀、豊田秀徳、畑中健、柿崎暁、川田一仁、的野智光、能祖一裕、飯島尋子、海堀昌樹、日浅陽一、熊田卓。Child-Pugh B 肝硬変に合併した切除不能肝細胞癌に対する Atezolizumab+Bevacizumab と Lenvatinib の有用性比較。第 59 回日本肝臓学会総会。

- 奈良 (2023.6.15-16)
25. 村上詩歩、多田俊史、谷丈二、福西新弥、糸林詠、厚川正則、平岡淳、狩山和也、廣岡昌史、辻邦彦、熊田卓、切除不能な肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法に伴う有害事象としての蛋白尿の臨床的予測因子. 第 59 回日本肝臓学会総会. 奈良 (2023.6.15-16)
26. 越智裕紀、田中孝明、平岡淳、島本豊伎、曹芳、天野通子、大濱日出子、畔元信明、多田藤政、眞柴寿枝、横田智行. 高齢化社会における early stage HCC に対するラジオ波焼灼術の治療意義. 第 59 回日本肝臓学会総会. 奈良 (2023.6.15-16)
27. 福西芳子、平岡淳、大濱日出子、多田藤政、加藤佳夏子、加藤雅也、實藤洋伸、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、廣岡昌史、日浅陽一. 初回治療としてラジオ波焼灼術を施行した肝細胞癌の治療成績に対する DAA 治療の影響. 第 59 回日本肝臓学会総会. 奈良 (2023.6.15-16)
28. 厚川正則、平岡淳、多田俊史. C 型肝炎硬変に対する DAA 治療による SVR 後の食道静脈瘤の推移. 第 59 回日本肝臓学会総会. 奈良 (2023.6.15-16)
29. 兼光梢、丸井香織、國分勝仁、奥嶋優介、沼田結希、今村良樹、小泉光仁、熊木天児、亀井義明、日浅陽一. 肝癌患者と HBVC 関連癌の実態. 第 29 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会. 高知 (2023.6.16-17)
30. 多田藤政、多田俊史、熊田卓、狩山和也、谷丈二、厚川正則、高口浩一、糸林詠、福西新弥、石川達、田尻和人、越智裕紀、豊田秀徳、小川力、畑中健、柿崎暁、川田一仁、海堀昌樹、飯島尋子、日浅陽一. 門脈圧亢進症を伴った切除不能肝細胞癌患者における Atezolizumab+ Bevacizumab 治療成績. 第 28 回日本肝がん分子標的治療研究会. 札幌 (2023.6.23-24)
31. 大濱日出子、平岡淳、多田藤政、加藤佳夏子、福西芳子、柳原映美、加藤雅也、實藤洋伸、泉本裕文、植木秀太郎、吉野武晃、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、須賀義文、宮田英樹、廣岡昌史、二宮朋之、日浅陽一. 切除不能肝癌に対する lenvatinib 治療における GNRI を用いた予後予測. 第 28 回日本肝がん分子標的治療研究会. 札幌 (2023.6.23-24)
32. 大濱日出子、平岡淳、多田俊史、畑中健、谷丈二、高口浩一、糸林詠、柿崎暁、厚川正則、福西新弥、辻邦彦、田尻和人、越智裕紀、豊田秀徳、矢田豊、黒田英克、能祖一裕、飯島尋子、日浅陽一、熊田卓. 切除不能肝癌に対する Atezolizumab+Bevacizumab 療法に対する腫瘍因子・肝機能を含めた予後予測スコア【多施設共同研究】. 第 28 回日本肝がん分子標的治療研究会. 札幌 (2023.6.23-24)
33. 平岡淳、熊田卓、多田俊史、狩山和也、谷丈二、厚川正則、高口浩一、糸林詠、福西新弥、辻邦彦、石川達、田尻和人、豊田秀徳、小川力、飯島尋子、畑中健、柿崎暁、川田一仁、海堀昌樹、能祖一裕、日浅陽一. 切除不能肝癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法治療成績予測における栄養評価の重要性. 第 28 回日本肝がん分子標的治療研究会. 札幌 (2023.6.23-24)
34. 柳原映美、多田藤政、平岡淳、中谷康輔、大濱日出子、實藤洋伸、泉本裕文、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、宮田英樹、二宮朋之、小泉洋平、廣岡昌史、日浅陽一. 当院の Atezolizumab+Bevacizumab 治療における蛋白尿の経験. 第 28 回日本肝がん分子標的治療研究会. 札幌 (2023.6.23-24)
35. 小林和史、小笠原定久、興梶慧輔、叶川直哉、糸林詠、大久保知美、中村和貴、森口理久、森本直樹、池田公史、黒田英克、河岡友和、相方浩、平岡淳、安井豊、土谷薫、葛谷貞二、佐藤肇、小澤義人、加藤直也. EACH-2 study を補う目的とした日本の実臨床下における進行肝細胞癌に対するラムシルマブの安全性と有効性を探索する臨床試験:R-evolution 試験. 第 28 回日本肝がん分子標的治療研究会. 札幌 (2023.6.23-24)
36. 兼光梢、小泉光仁、丸井香織、國分勝仁、奥嶋優介、沼田結希、今村良樹、熊木天児、日浅陽一. 肝癌患者における BRCA 検査の診療実態. 第 54 回日本肝臓学会大会. 福岡 (2023.7.21-22)
37. Atsushi Hiraoka, Mitsuo Shimada, Shinichiro Nakamura, Kazushi Numata, Tatsuya Yamashita, Hisashi Hidaka, Ikuo Nakamura, Hiromitsu Hayashi, Yusuke Kawamura, Yuki Nakagawa, Kyoko Yamada, Ryosuke Take, Masatoshi Kudo. IMBrave050:HCC に対する切除・焼灼後の Atezo+Bev の有用性を検証した多施設共同第 III 相試験-日本人集団-. 第 59 回日本肝臓研究会. 大阪 (2023.7.27-28)
38. 多田藤政、多田俊史、熊田卓、狩山和也、谷丈二、厚川正則、高口浩一、糸林詠、福西新弥、石川達、田尻和人、越智裕紀、豊田秀徳、小川力、畑中健、柿崎暁、川田一仁、海堀昌樹、飯島尋子、日浅陽一. 門脈圧亢進症を有する切除不能肝細胞癌患者における Atezolizumab+ Bevacizumab 治療成績. 第 59 回日本肝臓研究会. 大阪 (2023.7.27-28)
39. 柳原映美、多田藤政、平岡淳、中谷康輔、大濱日出子、實藤洋伸、泉本裕文、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、宮田英樹、二宮朋之、小泉洋平、廣岡昌史、日浅陽一. 当院における Atezolizumab+Bevacizumab 治療における蛋白尿の検討. 第 59 回日本肝臓研究会. 大阪 (2023.7.27-28)
40. 加藤佳夏子、大濱日出子、平岡淳、多田藤政、福西芳子、柳原映美、加藤雅也、實藤洋伸、泉本裕文、植木秀太郎、吉野武晃、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、須賀義文、宮田英樹、二宮朋之、廣岡昌史、日浅陽一. 初回治療でラジオ波焼灼術を施行したミラノクライテリア内肝細胞癌の腫瘍マーカー上昇と予後. 第 59 回日本肝臓研究会. 大阪 (2023.7.27-28)
41. 大濱日出子、平岡淳、多田藤政、加藤佳夏子、福西芳子、柳原映美、加藤雅也、實藤洋伸、泉本裕文、植木秀太郎、吉野武晃、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、須賀義文、宮田英樹、廣岡昌史、二宮朋之、日浅陽一. ミラノクライテリア内肝細胞癌の根治術後再発予測における aMAP risk score の有用性. 第 59 回日本肝臓研究会. 大阪 (2023.7.27-28)
42. 大濱日出子、畑中健、平岡淳、多田藤政、廣岡昌史、谷丈二、高口浩一、糸林詠、長沼篤、柿崎暁、小泉洋平、新井泰央、大久保知美、葉山惟信、田中一成、日浅陽一. Lenvatinib 療法と Atezolizumab+Bevacizumab 療法の肝機能へ及ぼす影響の比較検討【多施設共同研究】. 第 59 回日本肝臓研究会. 大阪 (2023.7.27-28)
43. 大濱日出子、平岡淳、多田藤政、加藤佳夏子、福西芳子、柳原映美、加藤雅也、實藤洋伸、泉本裕文、吉野武晃、植木秀太郎、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、須賀義文、宮田英樹、廣岡昌史、二宮朋之、日浅陽一. GNRI を用いた切除不能肝癌に対する Lenvatinib 療法の予後予測. 第 59 回日本肝臓研究会. 大阪 (2023.7.27-28)
44. 中谷康輔、平岡淳、大濱日出子、多田藤政、柳原映美、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、越智裕紀、廣岡昌史、日浅陽一. Performance status 3 以上の HCC 症例における積極的治療を行う意義について. 第 59 回日本肝臓研究会. 大阪 (2023.7.27-28)
45. Kozue Kanemitsu-Okada, Masanori Abe, Yoshiko Nakamura, Teruki Miyake, Takao Watanabe, Osamu Yoshida, Yohei Koizumi, Masashi Hirooka, Yoshio Tokumoto, Bunzo Matsuura, Mitsuhiro Koizumi, Yoichi Hiasa. Role of B Cell-Activating Factor in Fibrosis Progression in a Murine Model of Non-Alcoholic Steatohepatitis. The 3rd JSH International Liver Conference. Tokyo (2023.9.7-8)
46. Kazufumi Kobayashi, Sadahisa Ogasawara, Keisuke Koroki, Naoya Kanogawa, Ei Itobayashi, Tomomi Okubo, Kazuyoshi Nakamura, Michihisa Moriguchi, Naoki Morimoto, Masafumi Ikeda, Hidekatsu Kuroda, Tomokazu Kawaoka, Hiroshi Aikata, Atsushi Hiraoka, Yutaka Yasui, Kaoru Tsuchiya, Teiji Kuzuya, Rui Sato, Yoshihito Ozawa, Naoya Kato. Single arm study to evaluate the safety and efficacy of ramucirumab in advanced hepatocellular carcinoma patients in Japanese real-world practice; focusing on the complement of the REACH-2 study:R-evolution trial. ILCA 2023. Amsterdam (2023.9.7-9)
47. Masatoshi Kudo, Kazuomi Ueshima, Kaoru Tsuchiya, Naoya Kato, Tatsuya Yamashita, Shigeo Shimose, Kazushi Numata, Yuzo Kodama, Yasuhito Tanaka, Hidekatsu Kuroda, Shinji Itoh, Hiroshi Aikata, Atsushi Hiraoka, Michihisa Moriguchi, Yoshiyuki Wada, Kazuhiko Nakao, Ryosuke Tateishi, Sadahisa Ogasawara, Kouji Yamamoto, Masafumi Ikeda. Efficacy and safety analysis of a phase II study of atezolizumab plus bevacizumab for TACE-unsuitable patients with tumor burden beyond up-to-seven criteria in intermediate-stage hepatocellular carcinoma: REPLACEMENT study. ILCA 2023. Amsterdam (2023.9.7-9)
48. 實藤洋伸、黒田太良、加藤雅也、植木秀太郎、宮田英樹. 手術適応のない急性胆嚢炎患者に対する内科的ドレーナージ検討. 第 59 回日本胆道学会学術集会. 札幌 (2023.9.14-15)
49. 平岡淳、多田藤政、二宮朋之. 門脈圧亢進症と肝・脾、その他の臓器の硬度 肝癌患者における一般採血による F2 以上の食道胃静脈瘤簡易予測法と肝硬度との比較. 第 30 回日本門脈圧亢進症学会総会. 東京 (2023.9.22-23)
50. 多田藤政、厚川正則、高口浩一、辻邦彦、石川達、小川力、西村貴士、長沼篤、島田紀朋、黒田英克、糸川典夫、大久保知美、飯島尋子、海堀昌樹、日浅陽一. 門脈圧亢進症を伴う切除不能肝細胞癌における Atezolizumab+Bevacizumab 療法の効果と安全性についての検討. 第 30 回日本門脈圧亢進症学会総会. 東京 (2023.9.22-23)
51. 柳原映美、黒田太良、福本真惟、松田拓也、松岡海南、中谷康輔、實藤洋伸、泉本裕文、北畑翔吾、兼光梢、川村智恵、多田藤政、壺内栄治、宮田英樹、平岡淳、二宮朋之. 超音波内視鏡検査が診断の契機となった子宮平滑筋肉種の膵転移の 1 例. 日本超音波医学会第 33 回四国地方会学術集会. 高松 (2023.10.14)
52. Masatoshi Kudo, Atsushi Hiraoka, Tadatosh Takayama, Yasuhiro Takikawa, Songzi Li, Ramil Abdrashitov, Yaxi Chen, Frederic Boisserie, Kazuyoshi Ohkawa, Taroh Satoh. Tislelizumab versus sorafenib in first-line treatment of unresectable hepatocellular carcinoma(HCC):RATIONALE-301 Japanese subpopulation. JSCO2023. Yokohama (2023.10.19-21)
53. Fujimasa Tada, Atsushi Hiraoka, Kosuke Nakatani, Hideko Ohama, Emi Yanagihara, Yoshiko Fukunishi, Hironobu Saneto, Tomoyuki Ninomiya,

- Masashi Hirooka, Yoichi Hiasa. Clinical Features of Proteinuria During Atezolizumab plus Bevacizumab Treatment. APASL Oncology2023. Sendai (2023.10.27-28)
54. Yoshiko Fukunishi, Atsushi Hiraoka, Toshifumi Tada, Hidenori Toyoda, Toru Ishikawa, Ei Itobayashi, Kazuhiro Nouse, Kazuya Kariyama, Kunihiro Tsuji, Takeshi Hatanaka, Satoru Kakizaki, Atsushi Naganuma, Hideko Ohama, Fujimasa Tada, Takashi Kumada. Clinical Usefulness of Tumor Markers AFP, L3, and DCP for Treatment of Hepatocellular Carcinoma. APASL Oncology2023. Sendai (2023.10.27-28)
 55. Atsushi Hiraoka, Fujimasa Tada, Hideko Ohama, Emi Yanagihara, Yoshiko Fukunishi, Tomoyuki Ninomiya, Masashi Hirooka, Yoichi Hiasa. The Geriatric Nutritional Risk Index is a Useful Predictor of Muscle Volume Loss Regardless of Gender. APASL Oncology2023. Sendai (2023.10.27-28)
 56. Emi Yanagihara, Atsushi Hiraoka, Fujimasa Tada, Kosuke Nakatani, Yoshiko Fukunishi, Tomoyuki Ninomiya, Yoichi Hiasa. Clinical Features Related to the Prognosis of Patients with Ruptured Hepatocellular Carcinoma as Initial Symptom. APASL Oncology2023. Sendai (2023.10.27-28)
 57. Hideko Ohama, Atsushi Hiraoka, Fujimasa Tada, Kanako Kato, Yoshiko Fukunishi, Emi Yanagihara, Masaya Kato, Hironobu Saneto, Hirofumi Izumoto, Hidetaro Ueki, Takeaki Yoshino, Shogo Kitahata, Tonoe Kawamura, Taira Kuroda, Yoshiyumi Suga, Hideki Miyata, Masasugu Hirooka, Tomoyuki Ninomiya, Yoichi Hiasa. Prediction of Recurrence after Curative Treatment for Hepatocellular Carcinoma Using aMAP Risk Score. APASL Oncology2023. Sendai (2023.10.27-28)
 58. 多田俊史、熊田卓、平岡淳. C型ウイルス肝炎診療の New normal DAA-SVR 後の肝発癌予測における mADRES スコアの有用性. JDDW2023/第 27 回日本肝臓学会大会. 神戸 (2023.11.2-5)
 59. 松尾優、熊田卓、平岡淳. 肝細胞癌 Intermediate stage に対する治療戦略 Intermediate stage 肝臓における初回アテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法とレンパチニブ療法の比較・検討. JDDW2023/第 27 回日本肝臓学会大会. 神戸 (2023.11.2-5)
 60. 中谷康輔、平岡淳、大濱日出子、多田藤政、柳原映美、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、越智裕紀、廣岡昌史、日浅陽一. Performance status 3 以上の HCC 症例における積極的治療を行う意義について. JDDW2023/第 27 回日本肝臓学会大会. 神戸 (2023.11.2-5)
 61. 平岡淳、柿崎暁、熊田卓、多田俊史、狩山和也、糸林詠、辻邦彦、石川達、豊田秀徳、畑中健、大濱日出子、多田藤政、長沼篤、能祖一裕. 人工知能を用いた肝細胞癌の予後予測・治療法選択支援システム構築の試み. JDDW2023/第 27 回日本肝臓学会大会. 神戸 (2023.11.2-5)
 62. 大濱日出子、平岡淳、多田藤政、加藤佳夏子、福西芳子、柳原映美、加藤雅也、實藤洋伸、泉本裕文、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、廣岡昌史、日浅陽一. ミラノクライテリア内肝細胞癌の根治術後再発予測 aMAP risk スコアの有用性. JDDW2023/第 27 回日本肝臓学会大会. 神戸 (2023.11.2-5)
 63. 北畑翔吾、加藤佳夏子、福西芳子、柳原映美、加藤雅也、實藤洋伸、泉本裕文、植木秀太郎、吉野武晃、川村智恵、松岡順子、大濱日出子、黒田太良、須賀義文、多田藤政、宮田英樹、平岡淳、二宮朋之. メサラジン製剤の服薬アドヒアランスに関連する因子の検討. JDDW2023/第 27 回日本肝臓学会大会. 神戸 (2023.11.2-5)
 64. 野智光、平岡淳、熊田卓、多田俊史、畑中健、柿崎暁、厚川正則、辻邦彦、糸林詠、高口浩一、越智裕紀、豊田秀徳、小川力、谷丈二、矢田豊、黒田英克、川田一仁、能祖一裕、飯島尋子、日浅陽一. 切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法後の二次治療におけるレンパチニブの効果. JDDW2023/第 27 回日本肝臓学会大会. 神戸 (2023.11.2-5)
 65. 大濱日出子、平岡淳、多田俊史、畑中健、谷丈二、高口浩一、糸林詠、柿崎暁、厚川正則、福西新弥、辻邦彦、田尻和人、越智裕紀、豊田秀徳、矢田豊、黒田英克、能祖一裕、飯島尋子、熊田卓. 肝予備能・腫瘍進行度・腫瘍マーカーによる Atezolizumab+Bevacizumab 療法の予後予測スコアの提唱. JDDW2023/第 27 回日本肝臓学会大会. 神戸 (2023.11.2-5)
 66. 多田藤政、平岡淳、中谷康輔、大濱日出子、柳原映美、實藤洋伸、泉本裕文、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、壺内栄治、今井祐輔、中村由子、小泉洋平、廣岡昌史、日浅陽一. 当院における Atezolizumab+ Bevacizumab 治療における蛋白尿の検討. JDDW2023/第 27 回日本肝臓学会大会. 神戸 (2023.11.2-5)
 67. Atsushi Hiraoka, Takashi Kumada, Toshifumi Tada, Masashi Hirooka, Kazuya Kariyama, Joji Tani, Masanori Atsukawa, Koichi Takaguchi, Ei Itobayashi, Shinya Fukunishi, Kunihiro Tsuji, Toru Ishikawa, Kazuto Tajiri, Hironori Ochi, Satoshi Yasuda, Hidenori Toyoda, Chikara Ogawa, Takashi Nishimura, Takeshi Hatanaka, Satoru Kakizaki, Noritomo Shimada, Kazuhito Kawata, Atsushi Naganuma, Hisashi Kosaka, Tomomitsu Matono, Hidekatsu Kuroda, Yutaka Yata, Hideko Ohama, Fujimasa Tada, Kazuhiro Nouse, Asahiro Morishita, Akemi Tsutsui, Takuya Nagano, Norio Itokawa, Tomomi Okubo, Taeng Arai, Michitaka Imai, Yohei Koizumi, Shinichiro Nakamura, Hiroko Iijima, Masaki Kaibori, Yoichi Hiasa. Clinical usefulness of lenvatinib as second-line treatment for hepatocellular carcinoma following atezolizumab plus bevacizumab failure. AASLD2023. Boston (2023.11.10-14)
 68. Atsushi Hiraoka, Takashi Kumada, Toshifumi Tada, Masashi Hirooka, Kazuya Kariyama, Joji Tani, Masanori Atsukawa, Koichi Takaguchi, Ei Itobayashi, Shinya Fukunishi, Kunihiro Tsuji, Toru Ishikawa, Kazuto Tajiri, Hironori Ochi, Satoshi Yasuda, Hidenori Toyoda, Chikara Ogawa, Takashi Nishimura, Takeshi Hatanaka, Satoru Kakizaki, Noritomo Shimada, Kazuhito Kawata, Atsushi Naganuma, Hisashi Kosaka, Tomomitsu Matono, Hidekatsu Kuroda, Yutaka Yata, Hideko Ohama, Fujimasa Tada, Kazuhiro Nouse, Asahiro Morishita, Akemi Tsutsui, Takuya Nagano, Norio Itokawa, Tomomi Okubo, Taeng Arai, Michitaka Imai, Yohei Koizumi, Shinichiro Nakamura, Hiroko Iijima, Masaki Kaibori, Yoichi Hiasa. Atezolizumab plus bevacizumab therapy for hepatocellular carcinoma: The Geriatric Nutritional Risk Index as a convenient prognostic evaluation tool. AASLD2023. Boston (2023.11.10-14)
 69. Yoshiko Fukunishi, Atsushi Hiraoka, Takashi Kumada, Toshifumi Tada, Masashi Hirooka, Kazuya Kariyama, Joji Tani, Masanori Atsukawa, Koichi Takaguchi, Ei Itobayashi, Shinya Fukunishi, Kunihiro Tsuji, Toru Ishikawa, Kazuto Tajiri, Hironori Ochi, Satoshi Yasuda, Hidenori Toyoda, Chikara Ogawa, Takashi Nishimura, Takeshi Hatanaka, Satoru Kakizaki, Noritomo Shimada, Kazuhito Kawata, Atsushi Naganuma, Hisashi Kosaka, Tomomitsu Matono, Hidekatsu Kuroda, Yutaka Yata, Hideko Ohama, Fujimasa Tada, Kazuhiro Nouse, Asahiro Morishita, Akemi Tsutsui, Takuya Nagano, Norio Itokawa, Tomomi Okubo, Taeng Arai, Michitaka Imai, Yohei Koizumi, Shinichiro Nakamura, Hiroko Iijima, Masaki Kaibori, Yoichi Hiasa. Prediction of prognosis of immunotherapy for hepatocellular carcinoma: newly developed prognosis prediction model including assessment of hepatic reserve function. AASLD2023. Boston (2023.11.10-14)
 70. Hideko Ohama, Atsushi Hiraoka, Takashi Kumada, Toshifumi Tada, Masashi Hirooka, Kazuya Kariyama, Joji Tani, Masanori Atsukawa, Koichi Takaguchi, Ei Itobayashi, Shinya Fukunishi, Kunihiro Tsuji, Toru Ishikawa, Kazuto Tajiri, Hironori Ochi, Satoshi Yasuda, Hidenori Toyoda, Chikara Ogawa, Takashi Nishimura, Takeshi Hatanaka, Satoru Kakizaki, Noritomo Shimada, Kazuhito Kawata, Atsushi Naganuma, Hisashi Kosaka, Tomomitsu Matono, Hidekatsu Kuroda, Yutaka Yata, Fujimasa Tada, Kazuhiro Nouse, Asahiro Morishita, Akemi Tsutsui, Takuya Nagano, Norio Itokawa, Tomomi Okubo, Taeng Arai, Michitaka Imai, Yohei Koizumi, Shinichiro Nakamura, Hiroko Iijima, Masaki Kaibori, Yoichi Hiasa. Unmet needs of systemic therapy for unresectable hepatocellular carcinoma in patients with Child-Pugh class B: Comparison between atezolizumab plus bevacizumab and lenvatinib. AASLD2023. Boston (2023.11.10-14)
 71. Emi Yanagihara, Atsushi Hiraoka, Hideko Ohama, Fujimasa Tada, Kosuke Nakatani, Yoshiko Fukunishi, Tomoyuki Ninomiya, Yoichi Hiasa. Geriatric Nutritional Risk Index for Predicting Muscle Volume Loss in Hepatocellular Carcinoma Patients: Straightforward Approach for Utilization. AASLD 2023. Boston (2023.11.10-14)
 72. 北畑翔吾、福本真惟、松岡海南、松田拓也、中谷康輔、柳原映美、實藤洋伸、村上大晟、大西慶、泉本裕文、兼光梢、川村智恵、松岡順子、黒田太良、多田藤政、宮田英樹、平岡淳、壺内栄治、二宮朋之. 5-ASA 製剤の服薬アドヒアランス不良を予測する因子の検討. 第 14 回日本炎症性腸疾患学会学術集会. 神戸 (2023.12.1-2)
 73. 中谷康輔、平岡淳、多田藤政、松田拓也、松岡海南、柳原映美、實藤洋伸、泉本裕文、兼光梢、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、廣岡昌史、壺内栄治、日浅陽一. 当院における非ウイルス性肝細胞癌患者の臨床像の解析. 第 45 回日本肝臓学会西部会. 京都 (2023.12.7-8)
 74. Kaoru Tsuchiya, Masatoshi Kudo, Kazuomi Ueshima, Naoya Kato, Tatsuya Yamashita, Shigeo Shimose, Kazushi Numata, Yuzo Kodama, Yasuhito Tanaka, Hidekatsu Kuroda, Shinji Itoh, Hiroshi Aikata, Atsushi Hiraoka, Michihisa Moriguchi, Hideki Ohnishi, Akio Ido, Kouichi Takaguchi, Sadahisa Ogasawara, Kouji Yamamoto, Masafumi Ikeda. RE-PLACEMENT study: Primary analysis of a phase II study of atezolizumab plus bevacizumab for TACE-unsuitable patients with tumor burden beyond up-to-seven criteria in intermediate-stage hepatocellular carcinoma. 第 45 回日本肝臓学会西部会. 京都 (2023.12.7-8)
 75. 松岡海南、平岡淳、中谷康輔、松田拓也、柳原映美、實藤洋伸、泉本裕文、兼光梢、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、多田藤政、廣岡昌史、壺内栄治、日浅陽一. 当院で経験した肝原発神経内分泌細胞癌の 3 例.

- 第45回日本肝臓学会西部会. 京都 (2023.12.7-8)
76. 多田藤政、中谷康輔、平岡淳、松田拓也、松岡海南、柳原映美、實藤洋伸、泉本裕文、兼光梢、北畑翔吾、川村智恵、黒田太良、廣岡昌史、壺内栄治、日浅陽一. 初回治療として根治術を施行した肝細胞癌患者におけるSVR時期と予後の検討. 第45回日本肝臓学会西部会. 京都 (2023.12.7-8)
 77. 兼光梢、阿部雅則、日浅陽一. 非アルコール性脂肪肝炎におけるB細胞活性化因子の役割と治療標的としての可能性. 第45回日本肝臓学会西部会. 京都 (2023.12.7-8)
 78. 北畑翔吾、福本真惟、松岡海南、松田拓也、中谷康輔、柳原映美、實藤洋伸、村上大晟、大西慶、泉本裕文、兼光梢、川村智恵、松岡順子、黒田太良、多田藤政、宮田英樹、平岡淳、壺内栄治、二宮朋之. CRP陰性の潰瘍性大腸炎患者におけるロイシンリッチ α 2グリコプロテイン(LRG)と糞便マーカーの粘膜治癒予測性能の比較. 第120回日本消化器病学会四国支部例会. 高知 (2023.12.9-10)
 79. 福本真惟、川村智恵、松岡海南、松田拓也、中谷康輔、柳原映美、實藤洋伸、村上大晟、大西慶、泉本裕文、北畑翔吾、兼光梢、黒田太良、多田藤政、壺内栄治、宮田英樹、平岡淳、二宮朋之、神崎雅之. 食道嵌頓、十二指腸嵌頓を同時に起こし手術適応となった胃石の1例. 第120回日本消化器病学会四国支部例会. 高知 (2023.12.9-10)
 80. 澤田鮎美、北畑翔吾、福西芳子、加藤佳夏子、柳原映美、加藤雅也、實藤洋伸、泉本裕文、植木秀太郎、吉野武晃、川村智恵、大濱日出子、黒田太良、須賀義文、多田藤政、宮田英樹、平岡淳、二宮朋之. 大腸EMR 後出血における止血困難例に吸収性局所止血剤の併用が有用であった1例. 第120回日本消化器病学会四国支部例会. 高知 (2023.12.9-10)
 81. 兼光梢、中村由子、眞袋寿枝、長谷部昌. 愛媛県における働き方改革に向けての取り組み. 第120回日本消化器病学会四国支部例会. 高知 (2023.12.9-10)

(2) 論文・著書

1. Kanemitsu-Okada K, Abe M, Nakamura Y, Miyake T, Watanabe T, Yoshida O. Role of B Cell-Activating Factor in Fibrosis Progression in a Murine Model of Non-Alcoholic Steatohepatitis. *Int.J.Mol.Sci* 24(3). 2509 (2023.1)
2. Mishra G, Majeed A, Dev A, Eslick GD, Pinato DJ, Izumoto H, Hiraoka A, Huo TI, Liu PH, Johnson PJ, Roberts SK. Clinical Utility of Albumin Bilirubin Grade as a Prognostic Marker in Patients with Hepatocellular Carcinoma Undergoing Transarterial Chemoembolization: a Systematic Review and Meta-analysis. *J Gastrointest Cancer* 54(2). 420-432 (2023.1)
3. Casadei-Gardini A, Rimini M, Tada T, Suda G, Shimose S, Kudo M, Cheon J, Finkelmeier F, Lim HY, Rimassa L, Presa J, Masi G, Yoo C, Lonardi S, Tovoli F, Kumada T, Sakamoto N, Iwamoto H, Aoki T, Chon HJ, Himmelsbach V, Pressiani T, Montes M, Vivaldi C, Soldà C, Piscaglia F, Hiraoka A, Sho T, Niizeki T, Nishida N, Steup C, Iavarone M, Di Costanzo G, Marra F, Scartozzi M, Tamburini E, Cabibbo G, Foschi FG, Silletta M, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Shimada N, Kawata K, Tada F, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Burgio V, Persano M, Della Corte A, Ratti F, De Cobelli F, Aldrighetti L, Cascinu S, Cucchetti A. Atezolizumab plus bevacizumab versus lenvatinib for unresectable hepatocellular carcinoma: a large real-life worldwide population. *Eur J Cancer* 180 9-20 (2023.2)
4. Atsukawa M, Tsubota A, Kondo C, Koyano KS, Ishikawa T, Toyoda H, Takaguchi K, Watanabe T, Matsuura K, Ogawa C, Hiraoka A, Okubo H, Tateyama M, Uojima H, Nozaki A, Chuma M, Kato K, Mikami S, Tani J, Morishita A, Kawata K, Tada T, Furuichi Y, Okubo T, Kawano T, Arai T, Kawabe N, Kawamura N, Ikegami T, Nakamura M, Shigefuku R, Iwasa M, Tanaka Y, Hatano M, Iwakiri K. Risk factors for portopulmonary hypertension in patients with cirrhosis: a prospective, multicenter study. *Hepatol Int* 17(1). 139-149 (2023.2)
5. Shimose S, Sugimoto R, Hiraoka A, Tanaka M, Iwamoto H, Tanaka Y, Tada F, Ohama H, Niizeki T, Shirono T, Moriyama E, Noda Y, Kamachi N, Nakano M, Kuromatsu R, Koga H, Kawaguchi T. Significance of ramucirumab following atezolizumab plus bevacizumab therapy for hepatocellular carcinoma using real-world data. *Hepatol Res* 53(2). 116-126 (2023.2)
6. Toyoda H, Kariyama K, Hiraoka A. Letter: rising incidence and poor survival in patients with non-viral HCC-better HCC surveillance and treatment for alcohol-associated and non-alcohol fatty liver diseases are needed. Authors' reply. *Aliment Pharmacol Ther* 57(3). 363-364 (2023.2)
7. Hatanaka T, Kakizaki S, Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Shimada N, Kawata K, Kosaka H, Tanaka T, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Naganuma A, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Kumada T. Correction to: Development and validation of a modified albumin-bilirubin grade and α -fetoprotein score (mALF score) for hepatocellular carcinoma patients receiving atezolizumab and bevacizumab. *Hepatol Int* 17(1). 271-273 (2023.2)
8. Shimose S, Hiraoka A, Casadei-Gardini A, Tsutsumi T, Nakano D, Iwamoto H, Tada F, Rimini M, Tanaka M, Torimura T, Suga H, Ohama H, Burgio V, Niizeki T, Moriyama E, Suzuki H, Shirono T, Noda Y, Kamachi N, Nakano M, Kuromatsu R, Koga H, Kawaguchi T. The beneficial impact of metabolic dysfunction-associated fatty liver disease on lenvatinib treatment in patients with non-viral hepatocellular carcinoma. *Hepatol Res* 53(2). 104-115 (2023.2)
9. Hatanaka T, Kakizaki S, Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Shimada N, Kawata K, Kosaka H, Tanaka T, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Naganuma A, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Kumada T. Development and validation of a modified albumin-bilirubin grade and α -fetoprotein score (mALF score) for hepatocellular carcinoma patients receiving atezolizumab and bevacizumab. *Hepatol Int* 17(1). 86-96 (2023.2)
10. Hatanaka T, Naganuma A, Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Shimada N, Kawata K, Kosaka H, Kakizaki S, Tanaka T, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Kumada T. The hepatocellular carcinoma modified Gustave Roussy Immune score (HCC-GRIm score) as a novel prognostic score for patients treated with atezolizumab and bevacizumab: A multicenter retrospective analysis. *Cancer Med* 12(4). 4259-4269 (2023.2)
11. Kaibori M, Yoshii K, Umeda Y, Yagi T, Okabayashi T, Sui K, Mori A, Hamaguchi Y, Kajiyama K, Hokuto D, Monden K, Yoshizumi T, Nomura Y, Toriguchi K, Kim JM, Choi GH, Ryu JH, Koh Y, Kang KJ, You YK, Chun KS, Han YS, Cho CW, Choi YI, Kim DS, Yang JD, Mori K, Hiraoka A, Yamaue H, Nakamura M, Yamamoto M, Endo I. Surgical Outcomes of Laparoscopic versus Open Hepatectomy for Left Hepatocellular Carcinoma: Propensity Score Analyses Using Retrospective Japanese and Korean Individual Patient Data. *Liver Cancer* doi:10.1159/000527294 (2023.2)
12. Rimini M, Persano M, Tada T, Suda G, Shimose S, Kudo M, Cheon J, Finkelmeier F, Lim HY, Presa J, Masi G, Yoo C, Lonardi S, Piscaglia F, Kumada T, Sakamoto N, Iwamoto H, Aoki T, Chon HJ, Himmelsbach V, Pressiani T, Montes M, Vivaldi C, Soldà C, Hiraoka A, Sho T, Niizeki T, Nishida N, Steup C, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Tada F, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Burgio V, Rimassa L, Scartozzi M, Cascinu S, Casadei-Gardini A. Real-World Data for Atezolizumab Plus Bevacizumab in Unresectable Hepatocellular Carcinoma: How Does Adherence to the IMbrave150 Trial Inclusion Criteria Impact Prognosis?. *Target Oncol* 18(2). 221-233 (2023.3)
13. Tada T, Kumada T, Hiraoka A, Kariyama K, Tani J, Hirooka M, Takaguchi K, Atsukawa M, Fukunishi S, Itobayashi E, Tsuji K, Tajiri K, Ochi H, Ishikawa T, Yasuda S, Ogawa C, Toyoda H, Hatanaka T, Nishimura T, Kakizaki S, Kawata K, Shimada N, Tada F, Nouse K, Tsutsui A, Ohama H, Morishita A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Kosaka H, Imai M, Naganuma A, Nakamura S, Koizumi Y, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y. New prognostic system based on inflammation and liver function predicts prognosis in patients with advanced unresectable hepatocellular carcinoma treated with atezolizumab plus bevacizumab: A validation study. *Cancer Med* 12(6). 6980-6993 (2023.3)
14. 林知樹、黒田太良、柳原映美、福西芳子、加藤佳夏子、加藤雅也、泉本裕文、吉野武晃、植木秀太郎、北畑翔吾、川村智恵、大濱日出子、多田

- 藤政、須賀義文、宮田英樹、平岡淳、二宮朋之. 次世代経口胆道鏡で出血源を確認し、止血し得た胆道出血の 1 例. 愛媛県立病院学会々誌 57 巻. 69-71 (2023.3)
15. 松田拓也、北畑翔吾、福西芳子、加藤佳夏子、柳原映美、加藤雅也、實藤洋伸、泉本裕文、植木秀太郎、吉野武晃、川村智恵、大濱日出子、黒田太良、須賀義文、多田藤政、宮田英樹、平岡淳、二宮朋之. 術前に診断し得たびまん性大細胞性リンパ腫による成人腸重積の 2 例. 愛媛県立病院学会々誌 57 巻. 35-38 (2023.3)
16. Tada T, Kumada T, Hiraoka A, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Tada F, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y. Adverse events as potential predictive factors of therapeutic activity in patients with unresectable hepatocellular carcinoma treated with atezolizumab plus bevacizumab. *Cancer Med* 12(7). 7772-7783 (2023.4)
17. Hiraoka A, Kumada T, Tada T, Toyoda H, Kariyama K, Hatanaka T, Kakizaki S, Naganuma A, Itobayashi E, Tsuji K, Ishikawa T, Ohama H, Tada F, Nouse K. Attempt to Establish Prognostic Predictive System for Hepatocellular Carcinoma Using Artificial Intelligence for Assistance with Selection of Treatment Modality. *Liver Cancer* 12(6). 565-575 (2023.5.25)
18. Hatanaka T, Kakizaki S, Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Shimada N, Kawata K, Kosaka H, Tanaka T, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Naganuma A, Koizumi Y, Nakamura S, Joko K, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Kumada T. Comparative efficacy and safety of atezolizumab and bevacizumab between hepatocellular carcinoma patients with viral and non-viral infection: A Japanese multicenter observational study. *Cancer Med* 12(5). 5293-5303 (2023.5)
19. Watanabe T, Tokumoto Y, Joko K, Michitaka K, Horiike N, Tanaka Y, Hiraoka A, Tada F, Ochi H, Kisaka Y, Nakanishi S, Yagi S, Yamauchi K, Higashino M, Hirooka K, Morita M, Okazaki Y, Yukimoto A, Hirooka M, Abe M, Hiasa Y. Simple new clinical score to predict hepatocellular carcinoma after sustained viral response with direct-acting antivirals. *Sci Rep* 13(1). 8992 (2023.6.2)
20. Hatanaka T, Kakizaki S, Hiraoka A, Toyoda H, Kumada T. Reply to: "developing real-world prognostic models for patients with advanced hepatocellular carcinoma:CRAFITY,mALF and beyond". *Hepatol Int* 17. 1320-1321 (2023.6.3)
21. 福西芳子、平岡淳、大濱日出子、多田藤政、黒田太良、二宮朋之. 超高齢化社会における肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法の臨床的意義. 愛媛医学 42(2). 65-70 (2023.6)
22. 平岡淳、多田藤政、大濱日出子. 【肝疾患—診療のチェックポイント 2023】(第 III 部)肝疾患の生活指導 (第 3 章)慢性肝疾患に伴うサルコペニア. 臨牀消化器内科 38(7). 993-996 (2023.6)
23. 多田俊史、熊田卓、狩山和也、平岡淳、豊田秀徳、中村進一郎. 【肝疾患—診療のチェックポイント 2023】(第 I 部)診断のチェックポイント (第 2 章)肝機能検査を読むときのチェックポイント 3.肝予備能をみる検査. 臨牀消化器内科 38(7). 743-748 (2023.6)
24. Toyoda H, Kanneganti M, Melendez-Torres J, Parikh ND, Jalal PK, Piñero F, Mendizabal M, Ridruejo E, Cheinquer H, Casadei-Gardini A, Weinmann A, Peck-Radosavljevic M, Dufour JF, Radu P, Shiha G, Soliman R, Sarin SK, Kumar M, Wang JH, Tangkijvanich P, Sukeepaisarnjaroen W, Atsukawa M, Uojima H, Nozaki A, Nakamura M, Takaguchi K, Hiraoka A, Abe H, Matsuura K, Watanabe T, Shimada N, Tsuji K, Ishikawa T, Mikami S, Itobayashi E, Singal AG, Johnson PJ. Regional Differences in Clinical Presentation and Prognosis of Patients With Post-Sustained Virologic Response Hepatocellular Carcinoma. *Clin Gastroenterol Hepatol* doi:10.1016/j.cgh.2023.06.026 (2023.7.11)
25. Ochi H, Hiraoka A, Tanaka T, Mashiba T, Ohama H, Tada F, Fang C, Shimamoto T, Amano M, Azemoto N, Hirooka M, Yokota T, Hiasa Y. Clinical role of radiofrequency ablation for early-stage hepatocellular carcinoma in an advanced aging society. *Hepatol Res* 53(7). 641-648 (2023.7)
26. Shogo Kitahata, Kojiro Michitaka, Miyuki Kinebuchi, Akihiro Matsuura, Atushi Hiraoka, Hideko Ohama, Emi Yanagihara, Hironobu Saneto, Hirofumi Izumoto, Tomoe Kawamura, Taira Kuroda, Fujimasa Tada, Hideki Miyata, Tomoyuki Ninomiya, Yoichi Hiasa. Renal Cell Carcinoma and Hepatocellular Carcinoma in a Patient with Wilson's Disease:A Case report. *Intern Med*. 2056-23 (2023.8.23)
27. Kulkarni AV, Tevethia H, Kumar K, Premkumar M, Muttiah MD, Hiraoka A, Hatanaka T, Tada T, Kumada T, Kakizaki S, Vogel A, Finn RS, Rao PN, Pillai A, Reddy DN, Singal AG. Effectiveness and safety of atezolizumab-bevacizumab in patients with unresectable hepatocellular carcinoma:a systematic review and meta-analysis. *EClinicalMedicine* 63. 102179 (2023.8.30)
28. Tanaka K, Tsuji K, Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Naganuma A, Kosaka H, Matono T, Kuroda H, Yata Y, Ohama H, Tada F, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Yokohama K, Nishikawa H, Imai M, Koizumi Y, Nakamura S, Iijima H, Kaibori M, Hiasa Y, Kumada T. Usefulness of Tumor Marker Score for Predicting the Prognosis of Hepatocellular Carcinoma Patients Treated with Atezolizumab Plus Bevacizumab:A Multi-center Retrospective Study. *Cancers* 15(17). 4348 (2023.8.31)
29. Persano M, Rimini M, Tada T, Suda G, Shimose S, Kudo M, Cheon J, Finkelmeier F, Lim HY, Presa J, Masi G, Yoo C, Lonardi S, Tovoli F, Kumada T, Sakamoto N, Iwamoto H, Aoki T, Chon HJ, Himmelsbach V, Niizeki T, Montes M, Vivaldi C, Soldà C, Stefanini B, Hiraoka A, Sho T, Nishida N, Steup C, Iavarone M, Di Costanzo G, Marra F, Tamburini E, Cabibbo G, Foschi FG, Silletta M, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Tada F, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Campani C, Amadeo E, Rossari F, Burgio V, Cascinu S, Scartozzi M, Casadei-Gardini A. Sequential therapies after atezolizumab plus bevacizumab or lenvatinib first-line treatments in hepatocellular carcinoma patients. *Eur J Cancer* 189. 112933 (2023.8)
30. Persano M, Rimini M, Tada T, Suda G, Shimose S, Kudo M, Cheon J, Finkelmeier F, Lim HY, Rimassa L, Presa J, Masi G, Yoo C, Lonardi S, Tovoli F, Kumada T, Sakamoto N, Iwamoto H, Aoki T, Chon HJ, Himmelsbach V, Pressiani T, Kawaguchi T, Montes M, Vivaldi C, Soldà C, Piscaglia F, Hiraoka A, Sho T, Niizeki T, Nishida N, Steup C, Iavarone M, Di Costanzo G, Marra F, Scartozzi M, Tamburini E, Cabibbo G, Foschi FG, Silletta M, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Tada F, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Cammarota A, Burgio V, Cascinu S, Casadei-Gardini A. Clinical outcomes with atezolizumab plus bevacizumab or lenvatinib in patients with hepatocellular carcinoma: a multicenter real-world study. *J Cancer Res Clin Oncol* 149(9). 5591-5602 (2023.8)
31. Rimini M, Persano M, Tada T, Suda G, Shimose S, Kudo M, Cheon J, Finkelmeier F, Lim HY, Presa J, Salani F, Lonardi S, Piscaglia F, Kumada T, Sakamoto N, Iwamoto H, Aoki T, Chon HJ, Himmelsbach V, Schirripa M, Montes M, Vivaldi C, Soldà C, Hiraoka A, Sho T, Niizeki T, Nishida N, Steup C, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Tada F, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Burgio V, Scartozzi M, Cascinu S, Casadei-Gardini A. Survival outcomes from atezolizumab plus bevacizumab versus Lenvatinib in Child Pugh B unresectable hepatocellular carcinoma patients. *J Cancer Res Clin Oncol* 149 (10). 7565-7577 (2023.8)
32. Tada T, Kumada T, Hiraoka A, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Tada F, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Matono T, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y. Impact of first-line systemic therapy with atezolizumab plus bevacizumab in patients with hepatocellular carcinoma. *J Gastroenterol Hepatol* 38(8). 1389-1397 (2023.8)
33. Hatanaka T, Kakizaki S, Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K,

- Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Shimada N, Kawata K, Kosaka H, Naganuma A, Yata Y, Tanaka T, Ohama H, Tada F, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Kumada T. Association of proton pump inhibitor and antibiotic use with the clinical outcomes of hepatocellular carcinoma patients receiving atezolizumab and bevacizumab: A multicenter analysis. *Hepatol Res* 53(8). 737-748 (2023.8)
34. Hiraoka A, Ohama H, Tada F, Fukunishi Y, Yanagihara E, Kato K, Kato M, Saneto H, Izumoto H, Ueki H, Yoshino T, Kitahata S, Kawamura T, Kuroda T, Suga Y, Miyata H, Hirooka M, Abe M, Matsuura B, Ninomiya T, Hiasa Y. Simple method for predicting muscle volume loss using geriatric nutritional risk index in hepatocellular carcinoma patients. *J Cachexia Sarcopenia Muscle* 14(4). 1906-1911 (2023.8)
35. Nouse K, Shiota S, Fujita R, Wakuta A, Kariyama K, Hiraoka A, Atsukawa M, Tani J, Tada T, Nakamura S, Tajiri K, Kaibori M, Hirooka M, Itobayashi E, Kakizaki S, Naganuma A, Ishikawa T, Hatanaka T, Fukunishi S, Tsuji K, Kawata K, Takaguchi K, Tsutsui A, Ogawa C, Ochi H, Yata Y, Kuroda H, Iijima H, Matono T, Shimada N, Yasuda S, Toyoda H, Kumada T. Effect of butyrate-producing enterobacteria on advanced hepatocellular carcinoma treatment with atezolizumab and bevacizumab. *Cancer Med* 12(17). 17849-17855 (2023.9)
36. 井戸田聡、平岡淳、福西芳子、多田藤政、黒田太良、二宮朋之。緩徐な経過をたどった肝血管肉腫の1例。愛媛医学 42(3). 140-147 (2023.9)
37. 加藤雅也、平岡淳、多田藤政、二宮朋之。根治術を施行したC型肝炎ウイルス関連肝細胞癌におけるDAA治療登場前後の変化。愛媛医学 42(3). 130-134 (2023.9)
38. Tada T, Kumada T, Hiraoka A, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Tada F, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Matono T, Aoki T, Kuroda H, Yata Y, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Kudo M. Comparison of prognostic impact of atezolizumab plus bevacizumab versus lenvatinib in patients with intermediate-stage hepatocellular carcinoma. *Liver Int.* doi:10.1111/liv.15753 (2023.10.3)
39. Hiraoka A, Tada F, Ohama H, Fukumoto M, Matsuoka K, Matsuda T, Nakatani K, Yanagihara E, Saneto H, Izumoto H, Murakami T, Onishi K, Kitahata S, Kanemitsu-Okada K, Kawamura T, Kuroda T, Miyata H, Tsubouchi E, Hirooka M, Abe M, Matsuura B, Ninomiya T, Hiasa Y. Simple scoring system for esophagogastric varices prediction in hepatocellular carcinoma patients without liver stiffness evaluation. *Oncology.* doi:10.1159/000533672 (2023.10.11)
40. Xie E, Yeo YH, Scheiner B, Zhang Y, Hiraoka A, Tantai X, Fessas P, de Castro T, D'Alessio A, Fulgenzi CAM, Xu S, Tsai HM, Kambhampati S, Wang W, Keenan BP, Gao X, Xing Z, Pinter M, Lin YJ, Guo Z, Vogel A, Tanaka T, Kuo HY, Kelley RK, Kudo M, Yang JD, Pinato DJ, Ji F. Immune Checkpoint Inhibitors for Child-Pugh Class B Advanced Hepatocellular Carcinoma: A Systematic Review and Meta-Analysis. *JAMA Oncol* 9(10). 1423-1431 (2023.10)
41. Hiraoka A, Kumada T, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Naganuma A, Kosaka H, Matono T, Kuroda H, Yata Y, Ohama H, Tada F, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Koizumi Y, Nakamura S, Iijima H, Kaibori M, Hiasa Y. Geriatric nutritional risk index as an easy-to-use assessment tool for nutritional status in hepatocellular carcinoma treated with atezolizumab plus bevacizumab. *Hepatol Res* 53(10). 1031-1042 (2023.10)
42. Rossari F, Tada T, Suda G, Shimose S, Kudo M, Yoo C, Cheon J, Finkelmeier F, Lim HY, Presa J, Masi G, Bergamo F, Amadeo E, Vitiello F, Kumada T, Sakamoto N, Iwamoto H, Aoki T, Chon HJ, Himmelsbach V, Iavarone M, Cabibbo G, Montes M, Foschi FG, Vivaldi C, Soldà C, Sho T, Nizzeke T, Nishida N, Steup C, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Hiraoka A, Tada F, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Imai M, Kosaka H, Naganuma A, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Persano M, Burgio V, Piscaglia F, Scartozzi M, Cascinu S, Casadei-Gardini A, Rimini M. A new predictive score of response to atezolizumab plus bevacizumab for unresectable hepatocellular carcinoma. *Int J Cancer.* doi:10.1002/ijc.34799 (2023.11.23)
43. Ninomiya M, Tsuruoka M, Inoue J, Hiraoka A, Iwata T, Sano A, Sato K, Onuki M, Sawahashi S, Kuroda H, Oikawa T, Fujita M, Abe K, Katsumi T, Sato W, Igarashi G, Iino C, Endo T, Tanabe N, Numao H, Iijima K, Matsumoto T, Ohira H, Ueno Y, Masamune A. A new model to estimate duration of survival in patients with hepatocellular carcinoma with BCLC intermediate stage. *Sci Rep* 13. 20739 (2023.11.25)
44. 大濱日出子、多田藤政、平岡淳。切除不能肝癌治療における肝予備能とsequential治療の重要性。消化器内科 5(2). 80-85 (2023.11.25)
45. Tada F, Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Naganuma A, Kosaka H, Matono T, Kuroda H, Yata Y, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Yokohama K, Nishikawa H, Imai M, Koizumi Y, Nakamura S, Iijima H, Kaibori M, Hiasa Y, Kumada T. Efficacy and safety of atezolizumab plus bevacizumab treatment for unresectable hepatocellular carcinoma patients with esophageal-gastric varices. *J Gastroenterol* 58(11). 1134-1143 (2023.11)
46. Nakamura Y, Hirooka M, Hiraoka A, Koizumi Y, Yano R, Morita M, Okazaki Y, Imai Y, Ohama H, Hirooka K, Watanabe T, Tada F, Yoshida O, Tokumoto Y, Abe M, Hiasa Y. Survival Improvements in Advanced Hepatocellular Carcinoma with Sequential Therapy by Era. *Cancers* 15(21). 5298 (2023.11)
47. Hatanaka T, Kakizaki S, Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Yokohama K, Nishikawa H, Nishimura T, Shimada N, Kawata K, Kosaka H, Naganuma A, Yata Y, Ohama H, Kuroda H, Aoki T, Tanaka K, Tanaka T, Tada F, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Kudo M, Kumada T. Comparative analysis of the therapeutic outcomes of atezolizumab plus bevacizumab and lenvatinib for hepatocellular carcinoma patients aged 80years and older: Multicenter study. *Hepatol Res.* doi:10.1111/hepr.13991 (2023.12.6)
48. Hatanaka T, Kakizaki S, Hiraoka A, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Yokohama K, Nishikawa H, Nishimura T, Shimada N, Kawata K, Kosaka H, Naganuma A, Yata Y, Ohama H, Kuroda H, Tanaka K, Tanaka T, Tada F, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Koizumi Y, Nakamura S, Kaibori M, Iijima H, Hiasa Y, Kudo M, Kumada T. Comparing the impact of atezolizumab plus bevacizumab and lenvatinib on the liver function in hepatocellular carcinoma patients: A mixed-effects regression model approach. *Cancer Med* 12(24). 21680-21693 (2023.12)
49. Kariyama K, Nouse K, Hiraoka A, Toyoda H, Tada T, Tsuji K, Ishikawa T, Hatanaka T, Itobayashi E, Takaguchi K, Tsutsui A, Naganuma A, Yasuda S, Kakizaki S, Wakuta A, Shiota S, Kudo M, Kumada T. Treatment options for solitary hepatocellular carcinoma ≤5 cm: Surgery vs Ablation: A multicenter retrospective study. *J Liver Cancer* 24(1). 71-80 (2023)
50. Hiraoka A, Kumada T, Tada T, Hirooka M, Kariyama K, Tani J, Atsukawa M, Takaguchi K, Itobayashi E, Fukunishi S, Tsuji K, Ishikawa T, Tajiri K, Ochi H, Yasuda S, Toyoda H, Ogawa C, Nishimura T, Hatanaka T, Kakizaki S, Shimada N, Kawata K, Naganuma A, Kaibori M, Tanaka T, Ohama H, Nouse K, Morishita A, Tsutsui A, Nagano T, Itokawa N, Okubo T, Arai T, Imai M, Koizumi Y, Nakamura S, Joko K, Iijima H, Kosaka H, Hiasa Y, Kudo M. Relationship of Atezolizumab plus Bevacizumab Treatment with Muscle Volume Loss in Unresectable Hepatocellular Carcinoma Patients: Multicenter Analysis. *Liver Cancer* 12(3). 209-217 (2023)
51. 加藤佳夏子、川村智恵、泉本裕文、北畑翔吾、須賀義文、多田藤政、平岡淳、木藤克己、二宮朋之。広範な潰瘍を伴い、虚血性腸炎と類似した像を呈した collagenous colitis の1例。日本消化器内視鏡学会雑誌 65(11). 2304-2309 (2023)
52. 平岡淳。【肝疾患 臨床検査でどう迫る?】(4 章)肝腫瘍 臨床検査を用いた肝癌の予後予測。臨床検査 67(10). 1208-1211 (2023)
53. 中本安成、山下竜也、葛谷貞二、平岡淳、小笠原定久。【免疫チェックポイント阻害剤を巡る問題;適切なマネージメント】。肝臓 64(5). 217-234 (2023)